

令和2年7月31日

第1回死因究明等推進計画検討会

死因究明をめぐる重点課題

公益社団法人 日本医師会

副会長 今村 聡

1. 警察の検視立会い・検案業務をめぐる課題

- ・ 検視立会い業務を担う医師(いわゆる警察医)の高齢化と数の減少
- ・ 業務内容、委嘱形態、報酬額と算定方法、業務中の事故への補償等の地域差
- ・ 「警察に協力する医師」を表す名称(警察医, 警察協力医, 嘱託医, 検視立会い医等)
- ・ 検視立会い、検案を行う医師への法医学的支援のあり方
- ・ 検案費用のあり方

2. 大規模災害発生時の死体見分、検案体制

- ・ 初動の連絡系統の確立(警察、法医学会、医師会、歯科医師会等)
- ・ 地域内の各機関連携の機能化 ⇒ 地方死因究明推進協議会の活性化
- ・ 県内、隣県では対応困難な場合の広域支援のあり方
- ・ 訓練、シミュレーションの実施
- ・ 検案の基礎的能力向上のための研修のあり方

3. 死亡診断書・死体検案書の様式を含めたあり方

- ・記載項目の検討 ⇒死亡時画像診断、産科的項目、子どもの死亡等の項目追加
- ・死亡診断書と死体検案書の統合の検討 ⇒たとえば「死亡証明書」
- ・電子的提出の検討 ⇒統計情報への迅速・正確な反映、行政の負担軽減

4. 死亡時画像診断(Ai)のさらなる活用

- ・すべての小児死亡例への死亡時画像診断(Ai)の制度化の検討

5. チャイルド・デス・レビュー(CDR)の推進

- ・モデル事業の成果を踏まえ小児死亡全例報告の制度化に向けた検討
- ・小児 Ai モデル事業、異状死死因究明支援事業検証事業との連携

6. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う新たな対応

- ・検視立ち会い医師への感染防護具の配備
- ・警察への協力業務により感染した場合の公的な補償、休業補償

以 上